

第2回 鳴門市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和8年6月30日（金）10:00～11:00

場所：本庁舎 305 会議室

出席者名簿

【敬称略】

所属	氏名	区分	備考
鳴門市副市長	谷 重幸	鳴門市	会長
鳴門市政策監	橋本 晋作	鳴門市	
徳島バス（株）企画管理部副部長	東 孝行	公共交通事業者等	
徳島バス労働組合委員長	松本 忠宏	公共交通事業者等	欠席
（一社）徳島県バス協会専務理事	重本 錦二	公共交通事業者等	
徳島県タクシー協会 （鳴門第一タクシー（有）代表取締役）	長尾 春代	公共交通事業者等	
国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所徳島国道出張所長	東篠 眞吾	道路管理者・港湾管理者	
徳島県土整備事務所鳴門支所長	高崎 仁志	道路管理者・港湾管理者	監事
徳島県鳴門警察署交通課長	隅田 憲男	公安委員会	
鳴門市自治振興連合会監事	田村 豊	公共交通利用者	欠席
鳴門市幼小中PTA連合会長	江本 満	公共交通利用者	欠席
鳴門市社会福祉協議会長	松本久和子	公共交通利用者	欠席
鳴門市老人クラブ連合会会長	藤村 松男	公共交通利用者	
徳島大学大学院 社会産業理工学研究部長顧問	山中 英生	学識経験者	副会長
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官	廣瀬 渉	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官	山下 勇紀	その他鳴門市が必要と認める者	
徳島県生活環境部交通政策課課長補佐	山田 知成	その他鳴門市が必要と認める者	監事
四国旅客鉄道株式会社徳島企画部長	荒井 隆	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局 交通政策部交通企画課課長	岡崎 北斗	要綱第8条第5項の規定に 基づく出席者	オブザーバー

委 員 会 概 要

1. 開会

2. 議事

- (1) 令和7年度決算報告
- (2) 鳴門市地域公共交通計画の自己評価について

3. 報告事項

- (1) 鳴門市公共交通維持改善に向けた調査業務委託に係る公募型プロポーザルの実施結果について

4. その他

5. 閉会

議 事 要 旨

10 時 00 分 開会

1. 開会 会長挨拶 【出席者】出席者名簿参照	
2. 議事 (1) 令和 7 年度決算報告 ※事務局より説明（略）	
発言者	要 旨
谷会長	【決議】承認
(2) 鳴門市地域公共交通計画の自己評価について ※事務局より説明（略）	
発言者	要 旨
山中副会長	① 移動支援の利用実績について ② バスの乗り方教室の取組みについて
事務局	① 令和 7 年度の利用実績は、矢倉地区が 1 日平均 2 人程度、島田地区が月平均 1 5 人程度、大麻町は 1 2 月から 3 月までの 4 か月間で、月平均 1 0 人程度となっている。現在、矢倉地区は、運行体制の整備により休止しているが、関係機関と再開に向け協議を継続している。 ② 乗り方教室について、令和 7 年度は、林崎小学校 4 年生、第一小学校 3 年生、大津西小学校 1 ～ 2 年生の 3 校で、合計 1 5 0 人程度の生徒に対し実施した。今年度も、各小学校での実施に加え、出前講座についても予定しており、今後も学校側の意向や地域のニーズを踏まえながら、効果的な実施に努めたい。
山中副会長	・小学校在学中に全ての児童が一度はバス乗り方教室を体験できるような取組みが望ましい。
藤村委員	・地域公共交通計画は交通政策だけではなく、まちづくりや地域づくりとも連携して進める必要がある。 ・朝夕以外は空席の目立つ便も見受けられるため、利用促進が課題である。また、資料では高齢者や無料優待券利用者が多く、若年層利用が少ないことが課題として整理されており、若年層の利用促進が重要である。 ・地域のイベント時など需要が見込まれる際には、運行の工夫も検討してほしい。
事務局	・阿波おどりや花火大会など大規模イベント時には、徳島バスや JR 四国、観光部局と連携し公共交通利用促進を図っている。今後も需要を踏まえ、ダイヤ改正等も含め検討を重ねていきたい。

岡崎 オブザーバー	① 鳴門市企業等送迎車両活用事業に係る協定を締結している事業者について ② 高齢者等無料バス優待券等の運賃割引制度の現状について
事務局	① 現在、移動支援事業は３地区で実施しており、計５事業者と協定を締結している。このうち１地区については、実証運行中であることから、今後、利用者へのアンケート等を実施し、その結果等を踏まえ、運行ルート等についても改めて検討したい。 ② ７０歳以上の市民は、高齢者等無料バス優待券の利用により、地域バス及び徳島バス(株)が運行する路線バスを無料で利用できる。制度継続を望む意見がある一方、一部負担を求める意見もあるため、今年度実施する交通調査の中で利用者ニーズを把握し、割引制度等も含め検討していきたい。
山中副会長	・今年度実施する調査では、子どもの公共交通利用についても、実態を把握してほしい。保護者の送迎機会の増加により、子どもの自立性が失われるとの指摘もあり、公共交通利用の促進は子どもの成長という観点からも重要な側面がある。 ・高齢者についても健康づくりや外出機会の確保といった視点を踏まえた検討をお願いしたい。
谷会長	【決議】承認
３．報告事項 （１）鳴門市公共交通維持改善に向けた調査業務委託に係る公募型プロポーザルの実施結果について ※事務局より説明(略)	
４．その他	
岡崎 オブザーバー	・地域公共交通計画の中間見直しのスケジュールについて
事務局	・現在見直し作業に着手しており、今年度実施する調査や利用者ヒアリング等を実施し、９～１０月頃の協議会で計画案を提示する予定。１２月頃までに改定案を取りまとめ、年度末の計画改定を予定している。
岡崎 オブザーバー	・今回の調査結果を踏まえ、交通空白地域解消に向けて今後の計画改定に反映させてほしい。
５．閉会	

11 時 00 分 閉会